

# 1月給食だより



## あけましておめでとうございます



令和8年1月8日

小金井市立小金井第二中学校

校長 清水 裕徑

栄養士 櫻井 美幸

冬休みも終わり、3学期が始まりました。新学期を元気に迎えられるように、給食室一同心を込めて給食を作っていきます。

1月は春の七草や鏡開きにちなんだ給食で始まります。1月24日～30日は全国学校給食週間があり、今年は日本で初めて出された給食メニューを再現し、小金井の給食室で生まれたメニュー、世界の料理などを紹介していきます。

2年前の1月1日に能登半島地震があったことを覚えていますか？東京でもお正月に揺れを感じたと思います。災害は予想できませんが、私たちでできる防災対策を考えてみましょう。給食では、市の防災食を寄付していただき、給食始まりのメニューに防災がゆを使った汁物を用意します。

### 今年はうま年！



うまのように野菜を  
たっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなして  
きれいに食べよう！



よく味わってうま味  
を感じよう！



### おむすびの日



1/24～1/30は  
「全国学校給食週間」です

## 日本の学校給食のあゆみ

### 学校給食の始まり



明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

焼き魚

漬物

(明治 22 年ごろ)



五色ごはん

栄養みそ汁

(大正 12 年ごろ)



### 支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク

トマトシチュー

(昭和 22 年ごろ)



コッペパン・ミルク

クジラの竜田揚げ

せん切りキャベツ

(昭和 25～30 年ごろ)



### バラエティー豊かな献立内容に

給食の歴史を経て、今の給食があります。日本の季節の行事食や郷土料理、小金井の地場野菜を大切に給食を提供しています。また世界の食文化も紹介しています。